キャリアコンサルティング面接
基本の形と言葉（金言）５０
その使い方・表現力

面接実技合格の決定版

面接は（20分の７割は）はこれで自信をもって出来ます。

この超明解で大本命の「目からウロコ」の

面接完全マスター教材：2020年11月改定版

改定箇所は➡で示します。部分は下線で示す。

Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

この教材で次の７０％の部分を習得できる！

相談者の話の内容に応じて
どう答えるか反応するか

２級５ケースの相談に
より決まる言葉

基本の形・言葉
状況に応じて使い分ける

基本の形・進め方
・言葉（必ず使うもの）

住みやすい家を
建てることに例えると

④ 住人にヒアリングして、
感想や要望にどう応えるか

③ 済む人が決まったら
間取り・内装を決める

② 面接（家）の柱・骨組み

① 面接（家）の基礎・土台

面接当日２０分の
中で対応・考える部分

３０％

事前（面接試験の前）
に学び、身に付け、自信
付け準備できる部分

７０％

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第１段階】 ➤どこで ➤何のために ➤使う言葉
1	➤面談の初めの第一声 ➤相談者への挨拶
必須	➤①はじめまして、②キャリアコンサルタントの③〇〇（ここでは田中）です。（間を空けない） ④お名前、伺ってもよろしいですか？
解説	温かみと信頼感のある口調で。②③は間を空けないで続けて一気に話す。 ④により相談者は、続けてスムーズに自分の挨拶に入ることができる。
応用表現 実践編	①は大学生などでは、「こんにちは」の言い方も可。②「本日担当の〇〇」との言い方もあるが、試験では「キャリアコンサルタントの役割を担っている」とされているので金言の言い方がよい。 （注）金言の意味：手本とすべき内容を持つすぐれた言葉。プロの言葉。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第１段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
2	相談者の挨拶の後：相談者を温かく受け入れる
順必須	①〇〇（田中）さんですね、②こちらこそ、よろしくお願いします。
解説	温かみと信頼感のある口調で。①相談者の名前の伝え返しは、相談者の緊張感を和らげる。効果が大きい。 ②相談者がよろしくお願いします。と言った場合は、このように返す。
応用表現 実践編	試験では相談者は「名前とよろしくお願いします。」と返すのが標準的な応答。 試験ではないが、現実の面談では」「あまり名前を言いたくないのですが、ダメですか？」と返されることも考えられる。その場合は「それでも大丈夫ですよ、私の方からは仮に「相談者さま」とお話しさせていただきますね。また気が向いたらいつでもお名前お聞かせ下さいね。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第１段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
３	相談者に挨拶を返した後：　話しやすい雰囲気を作る。ラポール形成。
オプション	田中さん、このようなご相談は初めてですか？　（はい）　では少し緊張されていませんか、ここでお話しされることは、一切他にでることはありませんので、安心して何でもお話しください（ね）。
解説	これを入れないで、「本日はどのようなご相談ですか」と入る方法もある。試験ではそれでもよい。面接時間や守秘義務に関しては話す必要はない。しかし本当の接を考えると、このような話しやすい雰囲気を作る表現を身に付けておきたい。
応用表現 実践編	現実の面接では、様々な表現があります。天候やここまでの道順、椅子の位置等々あります。その中でも上記の表現は、初回面談で必ず使える「優れた表現」です。一つは簡単な対話型であること。対話で受容共感を示している。相談者が「いや、そんなに緊張はしていません」と答えた場合は、「③それほど緊張されていないのですね。あっ、それは良かったです。なお、念のためですが・・・④」と変えればよい。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第１段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
4	➤ここから相談の本題に入る：　➤相談者の問題を聞きだす。
必須 3例	①では、今日はどのようなご相談ですか？ ②早速ですが、どうされましたか？ ③本日はどんな相談ですか、お話ししやすいとことからお話しください。
解説	上記例3つの様に聞き方は、いろいろあり、どれが正解はありません。むしろ相手の年齢が男女、学生などにより自然なものを使えばよい。
応用表現 実践編	相談者は、「どうような相談ですか？」と聞かれて、重苦しく「いや～、今の仕事で悩んでしまって・・・・」のように一言言って、黙ってしまうことがある。この場合は、少し待ち様子をみてから、「今の仕事で悩んでいるのですね・・・そこをもう少し詳しくお聞かせ下さい（又はお聞かせいただけますか）。お話ししやすいところから何でも結構ですから・・・」と優しく声をかける。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第１段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
5	➤初めの相談（話）終わったと思われる：　➤確認と共感的伝え返し
標準	①　お話は・・・大体よろしいですか？　（はい） ②　今のお話を聞くと、それは本当に〇〇〇〇（迷いますね～）～
解説	①は、相談内容が本当に終わったのか明確でない場合に念のため入れる ②の〇〇は「迷いますね」、「悩みますね」、「どうすればいいかと思いますね」等、相談の内容に近いものを入れる。
応用表現 実践編	相談者は、「どうような相談ですか？」と聞かれて、重苦しく「いや～、今の仕事で悩んでしまって・・・・」のように一言言って、黙ってしまうことがある。この場合は、少し待ち様子をみてから、「今の仕事で悩んでいるのですね・・・そこをもう少し詳しくお聞かせ下さい（又はお聞かせいただけますか）。お話ししやすいところから何でも結構ですから・・・」と優しく声をかける。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第１段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
6	➤5に続いて：　➤相談内容の確認と共有
必須 定番	①では、田中さんのご相談は「〇〇で」よろしいですか？　又は ②今日、一番相談したいことは「〇〇で」よろしいですか？ ③もし違いや足らないことがあれば、何でもおっしゃって下さい。
解説	①または②がよい。〇〇は相談の内容を思い出して整理、要約した内容。相談内容のポイントをより明確に把握できた場合は②の表現がよい。その結果、相談がすぐに「そうです」や「はい」との肯定的な返事の場合は「はい、よく分かりました」と返す。しかし相談者の応答がすぐにない場合は③を付けくわえるとよい。相談者が塚や修正をした内容を話す場合は、その言ったことをそのまま伝え返すことが大事。「〇〇もあるということですね、よく分かりました。」
応用表現 実践編	①②はどちらかだが、③は極力入れた方がよい。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
	7	➤第二段階の初めの言葉　➤第二段階で質問することの共有（確認）
	提案 推奨	①ここからは、相談内容をより理解したいので、私の方からも、 質問させていただいてよろしいですか？ ②次に私から、いつくかお聞きしてもよろしいですか？
	解説	第2段階の初めの推奨の言葉。面接の枠組みの「言葉」。これにより相談者が より仕事分担、イメージしやすい。
➡	応用表現 実践編	①は詳しいが少し固い、②はよりフランクな言い方。これでも十分良い。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
	８	➤第二段階の初めの質問　➤　相談者自身（仕事）を理解する
	任意 定番	➤まず初めに、お仕事についてお聞きしたいのですが、 今まで経験してきた仕事と現在のお仕事に関して簡単で結構 ですのでお聞かせいただけますか？
	解説	これは質問の3つのカテゴリーの初めの「相談者自身を理解する質問」の代表例の相談者の仕事を聞く。面接の中では自分からそこを詳しく話すことはまずない。2級の事前のプロフィールに概要書いてあっても、本来はそれは知っている前提ではないので、聞いても良い、聞くべきこと。この質問は出来るだけオープンに聞いている。過去と現在を聞いている点がポイント。今現在を聞くだけでは不十分。「簡単」を入れている理由は、仕事内容を詳しく聞くと、答えが長くなる危険性がある。ここではざっくり何（仕事内容）を何年位行った・くらいで十分なのです。
➡	応用表現 実践編	第一段階の相談で、仕事に関して少し話が出た場合は、「お仕事に関してもう少しお聞きしたい・・・」と「もう少し」を入れないと、さっき話したのに？？　となる。次の簡単は入れない

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
	９	➤相談者の答えの後　➤CCとして相談者の話をちゃんと聞いたことを伝える
	必須 定番 3例	➤①　〇〇なんですね。　（〇〇はCLが言った言葉） ②　〇〇ということですね。 ③　〇〇ですね。　（語尾はこのような複数種類がある）
	解説	人の話を聞いて、その人と信頼関係をつくる為の3原則があります。それは「話の受止め（お話はちゃんと聞きましたを表す）」、「共感（CCとしてCLの話に共感、理解、賛成、称賛の表れ）」、「さらに質問（あなたのことをもっと知りたいの現れ）」この3つが大事。 ここではその「話の受止め」の言葉です。これは長く言う必要はありません。短い方がいいのです。 どんなにCLの答えが長くても、その中で、印書に残った部分、最後の方で言ったこと、を拾って、例「許せないと思ったのですね」のように返す。
➡	応用表現 実践編	9は「受け止め」と表現しているがより正確に言うと「一部の伝え返し」といえる。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
10 ～ 12	➤9の受け止の後　➤　共感・理解・賞賛などで信頼構築
極力 使う 任意	➤　例①　私も、〇〇さんの立場だったら同じように感じますよ（共感） 例②　そう考える（感じる）ことは私も理解できますよ（理解） 例③　それは素晴らしいですね（賞賛）
解説	ここではCCの立場でCLの話したことに関して、　共感・理解・賞賛などを示して信頼構築につなげる大事な言葉です。内容により出来る場合とできない場合がありますが、出来るだけ意識的に積極手に共感した方が良いのです。内容を考えて共感する言葉を考えると難しくなります。そこで短く共感できる言葉を沢山身に付けていることで、スムーズにできます。金言10～12（9番）ではいろいろな表現を例示しますので、全て覚えて、その中から合うものをいつでも使えるようにして下さい。理屈ぽく考えると言葉が出て来ませんのでシンプルに反射的にできるように練習しましょう。
応用表現 実践編	この共感は内容により言えない場合もある。3回に1回くらい言えれば十分。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
13 ～ 15	➤9の受け止の後　➤　共感・理解・賞賛などで信頼構築
極力使う 任意 追加3例	➤例①　私も、それはいいと思いますよ（共感） 例②　おっしゃることは、もっともだとおもいますよ。（理解） 例③　それは、なかなかできることではないと思いますよ（賞賛）
解説	前述10～12の解説と同じ。13～15は別の表現例。実際の面接ではこの言葉にCLが実際に話した内容を加えることも可能。例えば①では、「私も、このタイミングで転職を考えることは、いいと思いますよ」のように、「それは」を下線のように変える。③は、称賛する場合に何でも「素晴らしい」と表現することがよくあるが、明らかに大袈裟で違和感がある場合がある。例えば今の会社で30年務めて来ました、に対して「それは素晴らしいことだと思いますよ」は適当に褒めている感じでよくない。その場合は「1社で30年務め上げることは、なかなか出来ることではないと思いますよ」の方良い
実践編	この種の共感・理解を示すは日ごろ皆さんは意識的に行っていないのですぐに出てこない。この練習は日常会話の中でも相手に合わせて共感・理解を示すを練習することがよい訓練になる。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
16 ~18	➤相談者の答えの後　➤関連･追加質問でよりCLに寄り添い理解する
任意 出来るだけ 使う➤	①　その時は、どんなお気持ちでしたか？ ②　なぜそう思われたのか、お気持ちをお聞かせいただけますか？ ③　もし、反対されたら、どうされますか？　どんな気持ちになりますか？
解説	ここでの追加質問は、事実や状況をもっと詳しく聞きこともあるが、まず考えるのは「相談者の気持ちを聞く」ことである。再度繰り返しますが、質問の流れは。「聞くべきテーマ（例：仕事）についてオープンに聞く」➤CLの答え（話）➤「受止め」、「共感」、「関連追加質問」➤「受止め」、「共感」となる。この中で、CLの気持ちを聞くことは大切でタイミング的には、この「関連追加質問」の中で聞くことがよい。できるだけ「気持ちを聞く」質問をここで入れることです。
応用表現 実践編	キャリアコンサルティング面談の中での質問では、気持ちを聞くことが非常に大切です。それをこの部分で行うことが聞きやすい。試験では語尾を「・・のお気持ちを聞かせていただけますか？」にすると大変よい印象（気持ちを聞く姿勢）を与える。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
19	➤次の質問（テーマ）　➤　相談者自身（家族）を理解する
任意 定番	【家族について聞く】 今日のご相談は、ご家族にとっても影響が大きいと思いますので ご家族の状況を少しお聞かせいただけますか？
解説	相談者自身を理解する2つ目のテーマは「家族」です。家族は「いる」「いない」も含め聞き方が難しい。聞き方によっては、何でそこまで？　や　家族がいることを前提に聞くと「結婚してません！！」と反発を招くこともある。この金言19は、なぜ家族のことを聞くのかの理由と家族をいることを前提としない「ご家族の状況を少し」と柔軟な聞き方の、よく考えられた質問になっている。これはこのまま身に付けて下さい。
応用表現 実践編	2級試験の場合は、相談者プロフィールに家族が書いてある場合に、この質問をするとよい

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
20	➤次の質問（テーマ）➤　相談者の訴えていることをより理解する
任意 定番	相談者が訴えていることをより詳しく聞く 【上司と相性が悪く仕事が上手く行かない】と話していた場合（例） ご相談で、上司と上手く行かないと言われていましたが、 そこをもう少し詳しくお聞かせいただけますか？
解説	質問の2番目のカテゴリーは「CLの訴えていることを詳しく聞く」です。聞き方はオープンに聞くがセオリーです。理由は聞きやすい、以上にCLが答えやすい、心の中を話しやすいからです。上の例のように、〇〇と言われていましたが、そこをもう少し詳しく・・・と聞くことがポイントです。23回の小林さんのケースでは〇〇には、「仕事の進め方に馴染めない」、「今までん経験を活かしながら」、「転職したほうがいい」が当てはまる。このよういう考えると第二段階の質問で大事なことを的確に聞くことが出来る
応用表現 実践編	「そこをもう少し詳しくお聞かせいただけますか？」 に続いて、 「話しやすいところから何でも・・」

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
21	➤次の質問（テーマ）　➤将来や仕事で大事にすることを聞く
任意 定番の きき方➤	【質問カテゴリー3】将来や仕事で大事にすることを聞く 何か将来の目標や、やりたいこと、または仕事でこれだけは 譲れないことがあれば、何でもお聞かせいただけますか？
解説	この質問は、【質問カテゴリー3】将来や仕事で大事にすることを聞くものです。CLの相談の解決を考えるときに、「過去からの動きの結果として現在ある仕事や家族」、現在のCLが訴えている問題（本日の相談内容）を聞くだけでは不十分で、今後（将来）についてCLがどのような考えや思いを持っているかを理解することが大事です。「過去、現在、将来」をちゃんと抑えておくことです。
応用表現 実践編	試験の中では、質問の後半に聞く。前後のつながりがあまりない質問なので 「一方で、・・・」と頭に入れて聞くと自然に入れる。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
22	➤第2段階の後半の質問　➤迷いの度合いを聞く
任意 役立つ定番質問	➤①○○と○○（例：現職と転職）では本当に迷うと思いますが、②今現在の率直なお気持ちでは、どちらかに気持ちがより傾いていることが、③もしあれば、お聞かせいただけますか？
解説	この質問は、なかなか高度な質問です。「迷いの度合いを聞く」ものです。相談者は2つの選択肢で迷って相談に来るケースが多いのです。例えば、今の会社に留まるか転職か、就職か大学院進学か等です。二者択一の場合でも必ず50対50で迷っている訳ではありません。10対90、90対10でも迷うし、言葉では「迷っている」となっているが、その迷うの度合いが分かれば、解決でどこに焦点をあてるかが見えてきます。初めの①を必ず入れる。②が仮定法も使って出来るだけ婉曲に聞いている。この位しないと「それが分からいから来たんですよ！と反発を食うことになる。
応用表現 実践編	この質問は第二段階で時間に余裕がある、又は質問が無くなってきたときに有効な質問です。時間調整にも使えるし、迷いの気持ちを深く聞く意味もある。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
23	➤第2段階最後の質問　➤相談者に気になることを話す機会を与える
準必須 定番➤	ここまで、大事なことをお聞きしてきましたが、 他に何か気になることや、まだ話されていないことがあれば 何でもお話しください。　何かありますか？
解説	これは第2段階の最後の質問にするとよいもの。CCから何か聞くのではなく、CLの頭の中にある「今話している中で浮かんできた、何か気になること･･･」を引き出すものです。相談者はいろいろ話している中で、新たな気になるや問題を思い出すことはよくあります。それを第2段階で引き出す質問です。 別の見方をすると、相談者をより尊重することになります。何故ならCCの判断（聞きたいこと）で質問をするだけでなく、相談者に考える余地を与えているからです。
応用表現 実践編	相談者が難しい答えを返した場合でも、フォローをできるだけ簡潔にして長引かせない。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第２段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
24	➤第２段階の最後　➤第２段階のCCのまとめ、理解を伝える
必須 定番 ➤	①ここまでお聞きして来て、ご相談の状況は大分理解できたかな～・・ と思います。②しかし（確かに）難しい面がまだまだありますね・・・
解説	「第２段階のCCのまとめ、理解を伝える」言い方です。第２段階はもともと、相談の内容をより理解する為のものですから、「状況は大分理解できる」ことが大事です。ここでは「大分」が適切です。「大体」や「少し」はあまりよい表現ではありません。この最後を「かな～」と曖昧にいうこともポイントです。「出来ました」と断定すると相談者は違和感（反発）を感じるので。相談はまだ何も解決していないのですから。②も同じで、この段階では、「まだ難しい面がある」との認識が正しいのです。
応用表現 実践編	ここは、表現力が大事です。「理解できた、難しい」との相反することを言う表現力。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第３段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
25	➤第3段階の初め　➤第3段階でなにを行うかを相談者に伝え確認する
必須 定番 ➤	ここからは、田中（相談者）さんのご相談の解決に向けて一緒に考えて行きたいと思いますが、よろしいでしょうか？
解説	ここからは：　次の段階にはいることを表す言葉。　ご相談の解決に向けて：問題とは言わない。相談者にとってみると「問題」と言われることはしっくりこない。　一緒に考える：　一緒が大事、どちらかが一方的に進めるものではないから。また「考える」はこの面接で初めて出て来た言葉、なぜなら今までは、「聴く、聞く」に徹して、「考える」はまだしていない。　よろしいですか？：　行きましょう。ではなく相談者に同意、許可を得る言い回しで相談者を重視している。
応用表現 実践編	【短縮して言う場合は】今までのお話を聞いて、私がご相談の裏にある本当の（原因になっている）問題は・・・　27に飛ぶ。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第３段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
26	➤ 25に続く言葉　➤ CCが何をどう考えたかを示す前提を伝える
準必須 定番 ➤	ご相談の原因になっている、本当の問題は何かな～と考えて見いると・・ いくつかあると思うのですが、その中でもまず初めに考えて（取り組んで） 見たいことは・・・・・
解説	ここでは、ご相談に「原因」という言葉を使っている。一般的には「真の問題」「裏にある問題」との言い方がある。 要は「CCが考える相談者の問題（見立て）のことを表している。ここでは、相談者の訴えている問題1が結果の現象で、CC視点の問題2が、問題1の原因となる問題であるとの関係を明確にしている。 「いくつかあると思う」：ここで複数あることを言っておくと後で役に立つ。「まず初めに・・・」：同時に複数の問題解決は出来ない為、優先度の高いものから1つ1つ取り組む姿勢を示している。
応用表現 実践編	この複数の原因となる問題は、試験の前に考えておくとよい。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第３段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
27	➤26に続いて　➤相談者に原因になっている問題の気づきを与える
必須 定番 ➤	「〇〇〇（CC視点の問題を分かり易く言う）」が田中（相談者）さんの中に、少しあるのかな～と感じました。それが今回のご相談の〇〇（例：迷い）を起こす原因の1つではないかと思います。
解説	27番の言葉は、この面接の中でも最も重要な「言い方」「表現」です。何故なら、ここで初めてCCとして、相談者にとっては、思ってもみなかった耳の痛い話を聞くことになるのです。　ですからストレートに「ずばっと」言ったのでは強すぎる為、できだけ婉曲（間接的、遠回し）に言うことが大事です。その為に「あるのかな～」「一つでではないかと」の柔らかい表現を使っています。
応用表現 実践編	CCの考えを表す言葉の強さの順番：　少し感じる➤感じる➤思う➤考える➤〇〇です。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第３段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
28	➤27に続いて　➤原因つぶしが何の為かを明確にして、やる気を高める
必須 定番 ➤	ですから、そこから解消していくと、ご相談の解決に繋がっていくと 思うのですが、田中（相談者）さんはどう思われますか？
解説	相談者にとっては初めは耳の痛い話（自己理解不足、仕事理解不足、思い込み、認知のゆがみ等）で簡単には受け入れ難いものです。そこに気づきを与えて取り組んでみようかなと思わせる為に重要なことは、相談者の一番困っていること（初めに訴えている問題で、相談者はそれで頭が一杯状態）がこれに問組むことで解決されること示すことで、やる気モチベーションを高めている。　最後は「どう思われますか」と自分で考えてもらうことが必須です。
応用表現 実践編	最後の相談者に考えてもらうということは、その答えはYESもNOもあると言うことです。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第３段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
29	➤28、CL気づきの後　➤　CC視点の問題の解消を共通の目標に設定する
肯定的 答えの場合 必須 定番➤	【CCが気づく、賛同の場合】 そこに気づいていただいたことは大変良かったと思います。　ではまず、その原因の解消を、初めの目標に進めて行きたいと思いますが、よろしいですか？
解説	まずは、気づいたことを評価することが大切。それに続いて、その原因の解消を一気に目標にもってきている。その位、間髪を空けないことがポイントで、ここでもたもたしていると目標設定が難しくなる。　最後は「よろしいですか？」を忘れないように。ここはCCが意図的に次につながる目標を持ち出して面接を勧めるが、それに対してCLから質問がでる場合もある、それに対しては32番で説明しています。
応用表現 実践編	「大変良かった」は意図的に強調しています。これによりCLに「良かった」と思いこませる効果がある。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【第３段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
	30	➤28の後CCが気づかない反対の時　➤反対を受け入れて、別の問題にきりかえる
	任意 定番 ➤	①田中（相談者）さんは、そう思われるのですね。 ②〇〇に日々直接向き合っている訳ですから、田中さんがそう思われるなら確かにそうかも知れませんね、 ③では別の角度から解決の糸口を考えてみたいと思いますがよろしいですか？
	解説	CCの提案（打診）に対して、反対や否定されるときが、受検生の皆さんは一番困ることと思います。よく「それで頭が真っ白になってその後がガタガタになった」との声を聞きます。ここでは26から28にかけて丁寧に説明し、今まで信頼関係も築いてきたのですから、出来ることは十分に行った結果と考えて下さい。その上の反対や否定、もしくはCLの言っていることが正しいのかも知れないのです。ですかたここでは、相談者の答えを受け入れるべきです。決して強引に説得に入ってはいけません。ここで使う技法は見事に①受止め②共感③質問形式です。難しい局面でもこれが有効なことをよく理解して使って下さい。
➡	応用表現 実践編	なぜ、ここで否定的にもかかわらず、共感して受け入れる理由は、その前に十分丁寧に説明しているので、その上で気づかない場合は「受け入れる」以外に方法はないのです。説得調に入ることは余計にこじれる原因になります。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第３段階】　➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
31	➤29、30の後　➤　もう一つ別のCC視点の問題を提示して考えてもらう
任意 定番 ➤	もう一つ、気になることは、「〇〇〇（次のCC視点の問題）」が田中さんの中に少しあるのかな～と感じました。その解消から取り組むとよいと思いますが、田中さんはどう思われますか？
解説	ここでは、「〇〇〇（次のCC視点の問題）を27と28で言っていると同じ表現で話すのですが、２回目なのでより簡単にして話す言い方です。それでも意味は十分に伝わります。
応用表現 実践編	試験的な観点からは、「１度目の提案は否定され2度目の提案は受け入れられる」ことはよくあります。これは内容の良しあしではなく、試験方法ですから、１度目の否定の後に切り替えて2度目の提案を行うことが大切です。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
32	➤29の後、場合によって出る質問　➤相談者の質問に丁寧ね答える
任意 言い方例 ➤	（相談者の29に対する反応が「目標って、何ですか？」など質問の場合） 目標って何？　と思われますよね。　それはご相談の解決の為にまず初めに一緒に取り組む「原因解消」を目標に置くと考えてみてください。いかがですか？
解説	ここでは、こちらの提案にCLが、素直に賛同ではなく、質問することはよくあります。 その質　問で動揺する必要はありません。落ち着いて、丁寧に説明することが大事です。 ここの例では「目標ってなんですか？」と聞かれた場合の返事です。難しく考えずに 分かり易い言葉で言いかえることを行って見ましょう。 賛同を得る場合は、29に進む。以降はもとの流れに戻って
応用表現 実践編	その他の逆質問として、「それが本当に原因でしょうか？」と聞かれた場合どうする？答えは「今はその可能性が高いということです。ですからここをよく考えていくとよりはっきりしてくると思います」が適切。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
33A	➤29、32の後　➤33の別バージョン
準必須 定番 ➤	では、原因の見直し、（又は解消）の為に田中さんが何か考えられることや始めたいことはありますか？　あれば何でもおっしゃってください。
解説	第三段階からここまで、CCの話す部分がほとんどになります。そこで、この箇所で相談者に話す機会を投げかけることはよい方法です。相談者の返答が、「よく分かりません」などの答えの場合には33Bに進む、「・・・こんなことはどうでしょうか？」のように考えがある場合は、「それはよい方法かも知れませんね、ではその為に・・・・から初めて見てはいかがでしょうか」等と進めることができます。
応用表現 実践編	ここで、「別の原因も一緒に考えないといけなくはありませんか？」と聞かれた場合は「そうお考えになることも当然だと思います。では一緒に考えていきましょう」で十分。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
➡	33B	➤29、32の後　➤具体的展開の説明
	準必須 定番 ➤	（目標解消の為に）これから、どう進めて行くか、 お話しさせていただいてもよろしいですか？
	解説	第4段階に入る時に、これからの進め方を説明する導入句です。 このように切り出すことは、「丁寧で分かり易い」面接を進める上での進行役の 言葉です。「よろしいですか？」に対する相談者の反応は、「はい」とか「ええ」になりますが、 それ以上に心の中では「受け入れの準備」が進みます。
	応用表現 実践編	ここから具体的展開ですが、それを「これからの進め方」で整理して伝えるやり方です。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
34	➤33の後　➤ここからの進め方に理解を得る為（前半）
準必須 定番 ➤	まずは、田中さんと私で、〇〇に関して振り返りと整理を丁寧に行います。その「棚卸」から何をやればいいか見えてくると思います。
解説	進め方の初めは、相談者とCCで丁寧に振り返りの話を行うことが、全ての具体的な展開のベースになります。 そのことをこの言葉で伝えます。これなくして、急に〇〇やってみてはいかがですか？などの展開は、本当は大事な部分を省略しすぎです。 「棚卸」の言葉以外にも、「結果から」、「中から」、「見直しから」の言葉も使えます。
応用表現 実践編	〇〇には「何々についての理解不足」、「何々についての思い込み」などが入る。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
	35	➤34の後　➤ここからの進め方に理解を得る為（後半）
➡	準必須 定番 ➤	その中で足らない情報があれば収集する、必要な人に聞くなど 人的リソースの活用や有効なツールがあれば、それらも活用して いきます。（一緒に考えていきますが）　よろしいでしょうか？
	解説	ここでの足らない情報とは、調べる、情報を集める、事実を確認するなど相談者自身が行動して行うものです。一方、「人に聞く」は大事なキーマン、上司や先輩、妻等に直接、意見を聞くことです。これにより大きく判断や選択肢が変わってくることがあります。
➡	応用表現 実践編	有効なツールの活用に関しては25回5ケース対策でケースごとに考え埋め込むこと

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
	36	➤35の後　➤　具体的な例を示して、相談者の理解を深める
	準必須 定番 ➤	今回の場合は、〇〇に役立つ〇〇〇などは大変有効ではないかと思います。
	解説	有効なツールとは「適職診断ツール」「VPI」、「ジョブカード」、「キャリアインサイト」など皆さんが学んだもので、ちょうど合うものがあればここで入れることはより具体性を増すのでよいです。
➡	応用表現 実践編	有効なツールの活用に関しては25回5ケース対策でケースごとに考え埋め込むこと

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
37	➤36の後 ➤ 具体的な展開の話が今日は時間がないことに理解を得る
準必須 定番 ➤	早速、今から開始したい位ですが、実は今日は初回面談でそろそろお時間が来ています。そこで、この続きを次回の面談設定して進めたいと思いますが、お時間取れそうですか？
解説	この段階では、ほぼ面接の20分は終わりに近いはずです。まだ少し時間が残っていたとしても中途半端に具体的な話を行うより、ここで表現するように次回に面接の予定を打診することの方が具体的な展開の方法でしょう。
応用表現 実践編	試験では、面談の途中で試験官から「時間です。止めてください」と声をかけられることが普通でそれでよいのです。無理やり丁度時間で終わりを考えることはありません。ですからこの37近辺を話している時に終わりになることは、ちょうどよいとも言えます。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
38	➤37の後　➤　次回の面接に向けてモチベーション高める
準必須 定番 ➤	（次回の面談に肯定的な答えが返った場合） それは良かったです。次回の面談では、必ずご相談解決の為の具体的な行動や変化が見えてくると思いますよ。一緒に考えて（進めて）行きましょう。
解説	次回の面接の日程を決めるだけでなく、次回の面接での期待値、何が変わるのか？何がご相談の解決に繋がるのかの話を少し入れることが大事です。 その結果、相談者の次回に向けたモチベーションが上がり、本日の面談の評価も高くなるのです。
応用表現 実践編	具体的な行動や変化が、相談の解決に繋がるので2回目の面談までで1つのセットと考えても良いのです。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【第４段階　具体的展開】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
39	➤ 37の後 ➤ 難色を示された場合に、柔らかく再提案する
準必須 定番 ➤	（次回の面談に、なかなか時間がないとの反応の場合） なかなかお忙しいですよね。（お気持ちはあっても時間がないことはよく分かります）。私も最優先で時間をとり合わせたいとおもいますので、来週いつでも良いので、もしお時間調整できそうならお聞かせ下さいね。
解説	まずは、難色に対して「受止める」ことが大事、ここでは「なかなかお忙しいですよね。」その後で、こちらが最大限、努力や優先していることを伝える。 それを行ったあとに出来るだけ、柔軟に、相談者に答えの幅を広げた形で打診することです。
応用表現 実践編	音声解説と少し違うところがありますが、それらは表現のバリエーションと考えて下さい。

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで ➤何のために ➤使う言葉
40	➤第一段階 6に入れる ➤ CLの相談内容の確認と共有
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現 （別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで ➤何のために ➤使う言葉
41	➤第2段階　質問1　➤　質問して聞き出し理解を深める
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
42	➤第2段階　質問2　➤　質問して聞き出し理解を深める
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
43	➤第2段階　質問3　➤　質問して聞き出し理解を深める
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
44	➤第２段階　質問４　➤　質問して聞き出し理解を深める
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
45	➤第2段階　質問5　➤　質問して聞き出し理解を深める
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
46	➤第2段階　質問6　➤　質問して聞き出し理解を深める
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
47	➤第2段階　質問6　➤　質問して聞き出し理解を深める
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
48	➤第３段階　CC視点の問題１　➤　CLに原因になっている問題へ気づき
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

	金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで ➤何のために ➤使う言葉
	49	➤第３段階 CC視点の問題２ ➤ CLに原因になっている問題へ気づき
	任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現 （別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
➡	解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
	応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー

基本の形と金言５０の表現力

金言	【５ケース毎の対策：中身】 ➤どこで　➤何のために　➤使う言葉
50	➤第4段階　具体的展開例　➤ CLに具体的な行動や変化を起こさせる
任意 定番	ロープレの5つの相談内容が出た後に、作成します。5ケースごとに作成します。全50言葉表現（別教材になります） まずは各自、ご自身で考えて見ましょう。
解説	2020年12月、25回の5ケース対策の教材をご覧ください。
応用表現 実践編	

©Neoキャリアアカデミー